

1. コンピュータシステム

1. 3 ソフトウェア（バックアップ）

問題 1

バックアップの目的として、適切なものはどれか。

- ア. ファイルが記録されている記憶装置がどこにあるかを意識しなくても、利用者がデータを読み出せるようにする。
- イ. ファイルが記録されている記憶装置からデータを読み取るときに、平均アクセス時間を短縮する。
- ウ. ファイルが記録されている記憶装置に障害が発生したときに、ファイルの内容を復元する。
- エ. ファイルが記録されている記憶装置に対する不正なアクセスが行われたときにファイルの内容を保護する。

問題 2

複数のファイルを一つにまとめたり、元に戻したりする、バックアップを行うためのツール（ソフトウェア）はどれか。

- ア. アーカイバ
- イ. オフィスツール
- ウ. ディスパッチャ
- エ. ミドルウェア

問題 3

バックアップファイルの保管場所に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア. 空間を有効活用するために、専用の保管場所を設定するのではなく、空いている場所なら、どこでも好きな場所に保管してよいことにする。
- イ. 重要な情報を第三者に持ち出されたりしないようするために入退管理をしている部屋で厳重に保管しておくようにする。
- ウ. データを一元管理するために、バックアップ元となるファイルと同じ部屋に保管しておくようにする。
- エ. 必要なときに速やかに利用できるようにするために、外部の人間でもすぐに運び出せる場所に保管しておくようにする。

問題 4

データのバックアップ方法に関する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- ア. 業務処理がバックアップ処理と重なると正常にバックアップされない可能性があるので、両方の処理が重ならないようにスケジュールを立てたほうがよい。
- イ. バックアップ作業時間を短くするためには、同一記憶媒体内に別のファイル名にしたバックアップデータを置いたほうがよい。
- ウ. バックアップデータの重複を防ぐために、最新のバックアップファイル以外は廃棄したほうがよい。
- エ. バックアップ用媒体としては、順次アクセスが可能な記録媒体ではなく、ランダムアクセスが可能な記憶媒体を利用したほうがよい。

問題 5

あるシステムでは、次のバックアップ運用^{うんよう}を実施^{じっし}している。

【バックアップ運用^{うんよう}】

- (1) 毎月^{まいつき}1日^{いち}はフルバックアップ^{じっし}を実施する。
- (2) 毎月^{まいつき}10日^かと 20日^かには差分^{さぶん}バックアップ^{じっし}を実施する。
- (3) 上記^{じょうきい}以外^{いがい}の日^ひは、毎日^{まいにち}、増分^{ぞうぶん}バックアップ^{じっし}を実施する。

ある月の25日^{つきにち}に HDD の故障^{こしょう}が起きたとき、リストア^{りよう}に利用^{くみあ}するファイルの組合せ^{くみあわ}として、適切な^{てきせつ}ものはどれか。

- ア. 当日^{とうじつ}1日^{いち}のフルバックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}10日^かと当月^{とうげつ}20日^かの差分^{さぶん}バックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}21日^{いち}～24日^かの増分^{ぞうぶん}バックアップ^{じっし}ファイル
- イ. 当日^{とうじつ}1日^{いち}のフルバックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}20日^かの差分^{さぶん}バックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}21日^{いち}～24日^かの増分^{ぞうぶん}バックアップ^{じっし}ファイル
- ウ. 当日^{とうじつ}1日^{いち}のフルバックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}24日^かの増分^{ぞうぶん}バックアップ^{じっし}ファイル
- エ. 当日^{とうじつ}1日^{いち}のフルバックアップ^{じっし}ファイル、当月^{とうげつ}26日^{いち}～末日^{まつじつ}の増分^{ぞうぶん}バックアップ^{じっし}ファイル